



からしだね

2014年
4月号 (493号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父・染野 治雄神父
協力司祭: デニス・マックゴワン神父
住所: 〒563-0041 池田市満寿美町9-26
TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624
URL(ホームページ) :
http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



巻頭言	2	四旬節黙想会	3
典礼委員会から	3	総務委員会から	3
アジアン・ユース・デー募集	4	四旬節黙想会の感想	5
財務委員会から	7	チャリティコンサート委員会	7
ガラスケースの言葉	7	中高生会歓送迎会	8
新しい本が届きました	8	English Conversation Class	9
からしだね俳壇	10	宝塚黙想の家から	11
「祈りと歌」に新しい歌	11		

表紙写真: 長崎県新上五島町 米山教会(聖堂内) 最後の晩餐 提供: 福本

巻頭言

荒れ野へ

染野治雄神父

四旬節は、復活祭に洗礼を受けるための準備期間として始まったことをご存じだと思います。今年も救いを求める多くの人たちが神の民の仲間に入る準備をしています。

神の民の仲間に入るとはどういうことなのでしょう？ それは荒れ野を旅する者の仲間に加わることです。旧約の時代、エジプトで奴隷状態にあったイスラエルの民の声を聞いて、神はモーセをリーダーとして選び、彼らを自由と繁栄が約束された新天地へと導き出されました。モーセの過越です。イスラエルの人々は約束の地をめざし意気揚々とエジプトを出てゆきます。ところが出て行った先の現実には過酷なものでした。食べ物も水もない荒れ野です。荒れ野は約束の土地に入るのにふさわしい者を育てるための試みの場所だったのです。

ですから洗礼とは、イエス（新しいモーセ）に導かれて、罪の奴隷状態から自由の地・神の国を目指して旅する者の仲間に入る、新しい過越の出発式ということができます。

40年、50年前の日本は、明日は今日よりきっとよくなるという希望をもってみんな頑張っていました。家族の絆、地域の絆がまだ強かった時代、教会は貧しいながらもよい未来があると信じる人々が集い、支え合い、励まし合う場として役割をはたしてきました。

ひるがえって今の日本はどうかといえば、失われた20年と言われるなか、将来への道筋をなかなか見出せないでいます。教会も少子高齢化、相対主義など社会の流れと無縁でなく、人々にどのように救いを語ってゆけばよいのか、新しい言葉を探している状態です。もはや“いい話”を語っているだけでは済まなくなっているのです。

もちろん、教会はこの変化に気付いていなかったわけではありません。大阪教区ではすでに19年前、新生計画を発表して新しい教会像を示し、変化を促してきました。共同宣教司牧やブロック化など、小教区の壁を越えて協力と共同責任のもとに新しい教会の在り方、宣教の在り方を目指して進んでいます。それは痛みをともなうことでもありますが、実りも生まれつつあります。

わたしたちにも、遅ればせながら、このような教会がおかれた現実が見えてきました。新生計画はこのような現実を見るようわたしたちを促します。先行きの見えない今、教会が本当の人間の幸せとはなにかを発信して、人々に証しして行くときです。共に助け合い支え合って生きる姿を世に証してゆくのがキリスト者の務めです。たとえば、高齢者のお世話、若い人たちへの信仰教育、信徒リーダーの養成など、限られた力のなかでもできることはあります。わたしはわたし、あなたはあなた、というなんでもありの時代だからこそ、だれもが共感できる信仰の価値を次の世代に伝えて行く。困難な時代だからこそ、これからがわたしたちの信仰を証明する正念場になります。

神さまはモーセたちにマナ（聖体）と十戒（み言葉）をお与えになって、旅路を支えてくださいました。神さまはわたしたちを荒れ野に導きだして、そのまま放っておかれる方ではありません。わたしたちもご聖体とみ言葉に支えられて、神の国への旅を続けています。神さまが用意してくださった救いの現実には、人間にとって必ずしも都合の良いことばかりではありません。痛みを受け入れなければならないこともあります。ご自分の民としてふさわしい者になるように、ときには試練をも与えられます。この旅のなかで、神はより成熟した人間、成熟した共同体を育てようと望まれるのです。

生きるのが決して楽ではないときに、なぜ、あの人たちはあんなに生き生きとしているのだろう。こういわれるような信仰共同体を目指して、イエスに導かれて荒れ野の旅に出て行きましょう。



四旬節黙想会 (3月9日)

3月9日(日)に四旬節の黙想会を開催しました。イエズス会所属の六甲教会助任司祭 片柳弘史神父様を講師にお迎えしました。テーマは「苦しみを越えていく力～マザーテレサに学ぶ」でした。9:00からの御ミサが終わったあと、10:15から講話いただき、そして最後に11:30から「ゆるしの秘跡」を指導していただきました。片柳神父さまは、1994～1995年にかけてインドのカルカッタ(コルカタ)でマザーテレサの指導のもと、ボランティア活動に従事されました。

『愛する子どもたちへ マザーテレサの遺言』、
『わたしはあなたを忘れない』、『カルカッタ日記
マザーテレサに出会って』、『祈りへの旅立ち マ
ザーテレサに導かれて』などの御本を執筆されてい
ます。
(研修委員会)

※ 当日の講話(音声)は池田教会のホームページに、
5～6ページに感想文を掲載しています。



プロジェクタで投影されているのは、
マザーテレサお気に入りの写真 (撮影は片柳神父様)



典礼委員会から

- ◎ 今年の復活祭は4月20日です。
- ◎ 十字架の道行は、3月7日から4月18日まで、毎週金曜日の10:00と19:30に行われます。なお、4月18日は聖金曜日のため10:00のみです。

総務委員会から

教会内での忘れ物が、沢山たまっています。
カール記念館1階受付に保管していますので、お心当たりの方は見に来て下さい。

「アジアン・ユース・デー (AYD)」に行きませんか？

今年8月10日(日)～17日(日)まで韓国で「第6回アジアン・ユース・デー (AYD)」が開かれます。アジア28カ国のカトリック教会から、2000人の青年たちが集うのです。ホスト国である韓国の文化や社会、さらには教会の福音的な取り組みを体験するばかりか、逆に自分の国や文化についても紹介します。8日間をともに祈り、ともに学び楽しみましょう。

韓国テジョンで開かれる今度の大会テーマは「アジアの若者よ。目覚めよ！殉教者の栄光があなたに輝く」というものです。サブテーマは次の3つ。

- 1 信仰の原点を思い出すこと。
- 2 信仰を再発見すること。
- 3 現代社会の証し人として、イエスと共に歩むこと。

日本からは約100名が招かれています。あなたも参加してみませんか？

- ◆同行司祭 郡山健次郎 鹿児島教区司教、そのほか司祭
- ◆対象 18～35歳（大学生以上、多少の英語力が必要です）
- ◆募集人員 100名
- ◆費用 参加費 (US\$210→約22,000円) + 旅費 (韓国までの往復旅費は自己負担)
- ◆注意事項 現地韓国テジョン集合・解散、交通手段は自己手配が必要。
なお、集合場所等の詳細は後日お知らせします。
- ◆締め切り 2014年4月15日(火)

日程詳細は以下の通り。

8月10日(日)～12日(火)までは現時点では未定。

〈AYD本大会の内容〉

- 13日(水) 開会ミサ 場所：聖アンドレア・キム・デゴンの出生地 ソルメ聖地
- 14日(木) 「信仰の原点を探そう」 文化発表会・テゼ(夜)
- 15日(金) 「閉じた心の扉を開こう」 ワークショップ・交流会(夜)
- 16日(土) 「イエスや殉教者と共に歩もう」 巡礼・フェスティバル
- 17日(日) 閉会ミサ・帰国

- ◆問合せ先 カトリック中央協議会 青少年司牧部門
電話 (03)5632-4480 FAX (03)5632-4465 gensec@cbcj.catholic.jp
- ◆主催 アジア司教協議会連盟 信徒局ユースデスク

教皇様の参加決定！
申し込みはお早めに！



片柳弘史神父様(イエズス会・六甲教会助任)による 3月9日の四旬節黙想会の感想

多数の方々から感想を頂戴し、有難うございました。その日のうちに神父様にお渡しすることができました。偉人伝を読んで感化される幼少期を過ごされ、青年になり24時間テレビ(愛は地球を救う)でマザーテレサを知ることになりました。さらにマザーが生きておられる事がある日解り、仰天されたというエピソードは愉快でした。落ち込まれた時にはインドのカルカッタまでマザーに会いに出かける行動力はすごいもので、神様に呼ばれた方だと思いました。よく通る声と弾丸のようにスピード感ある話しぶりでその一部をお話下さいました。以下に皆様の感想を紹介します。

- ◆片柳神父の勇氣ある行動に感心しました。ノーベル賞のマザーテレサに直接出会いに行く行動力。それに神様の特別の恵みが加わって立派な神父になりました。
- ◆御自分のことをざっくばらんに話して下さいととても親しみを感じました。マザーテレサの心の闇の話が深く心に残り救われた気がしました。
- ◆本日の黙想のマザーテレサの言葉と説明をこの四旬節の糧にしたいと思います。
- ◆とても情熱的な口調の話でした。他人の苦しみによりそうのは難しいですが、これからしていくべき事なのかなと考えさせられました。
- ◆以前教会でマザーテレサのDVDの上映会があり、その時に見たマザーが祈りの時間にシスター達の後ろで、じっと座って祈っておられる姿が印象的でした。マザーの活動の源である祈りを見た様に思っていました。まさか長い間マザーが心の闇に苦しんでおられたとは知りませんでした。また新しくマザーの深い部分を知り、感じ取ることができたと思います。ありがとうございました。
- ◆声に表情に、素直に神への想いが溢れていた。これがマザーテレサのわざ。
- ◆片柳神父様の講話を初めて拝聴させて頂きました。マザーテレサから直接教えを受けた方だからこそ学ばれた深い真理(苦しみが深ければ深い程神様と深く結ばれる)は、私自身の今までの人生経験からも自分なりにわかります。これからもマザーテレサの教えを多くの人達に伝えて行かれますよう心からお祈りしております。お身体にも気をつけて、がんばって下さい。感謝のうちに。
You will be holy. 私はなりたい、なるんだ、聖なるものに。私の兄弟の一番小さいものにしたことは私にしたことである。
- ◆感謝！日本に宗教はないと思い、ましてキリスト教、特にカトリック等、育たないだろうと思い、ほとんど失望、捨てきっていました。でも、でも、でも、こういう若い司祭、しかも修道司祭が居らっしゃるといふ事に、驚きと同時に、カトリック、捨てたもんじゃないと、希望を持ちました。昨年、12月心臓の手術を受けました。絶望のふちをうろうろしていました。でもほんとに希望を見ました。豊かな思いです。ありがとうございました。あっちでもこっちでも、戦争の前しょう、殺りく。神さま、人間造って、失敗作だったんじゃないの、とと思ってましたねえ…。みごとに違いました！！
たまたま今日は体調が良かったので、ミサに参加できました。他教会の者ですので黙想がある事、知りませんでした。ほんとに嬉しかったです。久しぶりに御聖体いただけましたし…。でも、これから私に何が出来るか考えます。
- ◆四旬節にふさわしいお話を聞かせて頂きました。若い立派な神父様が育っていることを神に感謝します。
- ◆本日はカトリック池田教会へお越し頂きありがとうございます。神父様を通してのマザーテレサ様のお話は凄く真実にあふれ、暗闇の底からの信仰、愛の反対は無関心という事を学びました。マザーテレサ様が「身近なカルカッタで私と同じ行いをして下さい」と以前に話を聞いた事があり、単なる言うだけの信仰だけでなく、行う事が出来る信仰を身に付けて行きたいです。分かりやすく熱意あふれた説教を本当にありがとうございます。

- ◆深いお話を軽妙なテンポで語って頂き、私の心にひびく黙想でパワーをいただきました。感謝です。
- ◆神父様のエネルギッシュな御ミサに「力」を頂きました。神父様の情熱がビシビシと伝わってきました。「あえて苦しい道」を歩むのはとても困難です。神様にゆだね、I will ができたと思いました。
- ◆苦しみの意義について深く考えさせられました。教会内でも異色のすばらしいお話でした。ありがとう。
- ◆十字架の苦しみ、について何か感じられた。マザーテレサのテレビ等を何度か見ていたが、もう一度考えて見たい。良い黙想会であったと思う。
- ◆とても良かったです。深い内容もわかりやすく説明して下さい。感謝しています。どうぞ今後もがんばって下さい。
- ◆毎朝、マザーテレサの言葉を読んでいた頃があったが、マザーテレサの心の闇については初めて知った。大学の頃、神父様からインド(マザーテレサの所)に行くのはどうか？と言われたが、「ちょっとムリ…」と思った。…それが神父様と私の違い。
- ◆Sr. マザーテレサを通してのわかりやすい講話、ありがとうございます。回心の恵みを再び認識致しました。
- ◆元気になりました。
- ◆今日の黙想会にて自分がカトリック信者である事が幸せであると気づいた。これからは少しでも他人に目をむけて祈り、生活をして、はげます、悩みを聞く、など信者としてこれからの人生を歩んでいきたいです。
- ◆片柳神父様、とてもわかりやすいお話有難うございました。サクラファミリアで話を聞かせていただいた時から大変うれしくお顔をおぼえましたのに、遠い宇部に行かれません。お体大切にして下さい。
- ◆自分の信仰、薄っぺらな事を再度自覚できました。神様をもっと近くに感じたい。一緒に居て下さることを感じる心を、信仰を、日々重ねたいです。有難うございました。
- ◆「心の闇、苦しみ→それが神からの恵みにつながる」素晴らしいお話でした。私の心に深く刻まれました。有難うございました。
- ◆片柳神父様のことは、大学生の娘から初めて聞きました。インターネット上の神父様の発信に感動したそうです。今日はわくわくしながら黙想会に参加しました。あなたは貧しい人々、苦しむ人々に対し何が出来ますかと、宿題を与えられました。
- ◆興味深いお話でした。楽しかった。
- ◆マザーは私が考えていたとおりの方でした。
- ◆人間の中にはだれしも闇の部分があると思います。孤独の部分があると思います。聖霊のお助けを得て、闇をイエス様をお伝えしていける、その働きに用いて貰える事、願います。
- ◆年を取ると共に、苦しいこと、つらい事が増しており、まさにやみの中の生活をしていましたが、大変わかりやすくお話して下さいまして感謝でございます。ありがとうございました。
- ◆若々しい情熱的なお話、心にひびきました。有難うございました。小学生のご体験のお話もよかったです。
- ◆同じ目せんで、苦しみもいっしょに味わう。心の苦しみもいっしょに味わう。これからの仕事の面でもすごく役にたつ話でした。ありがとうございます。

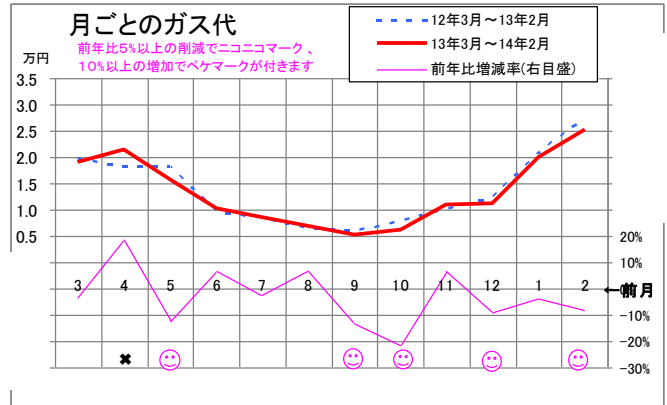
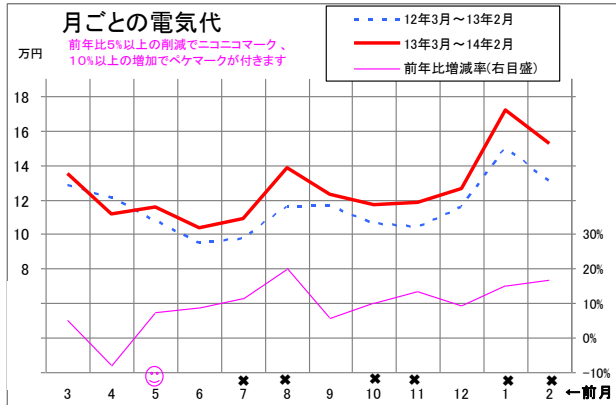
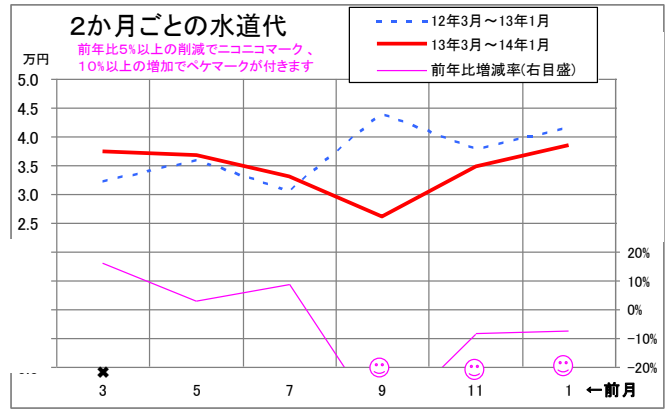


財務委員会から

★ 2月支払い分

電気代 152,578円 ガス代 25,199円
水道代 38,394円(12-1月使用分)

電気代は値上げ分以上に増加しているように思いますが、ガス代・水道代については、節約されていて順調に推移しています。4月からは消費税増税にともない、料金が値上げされます。一層のご協力をお願いいたします。



チャリティコンサート委員会から

2013年度 第38回チャリティコンサートへのご協力ありがとうございました。お蔭様で、チケットの売り上げ、当日の堂内寄付等を合わせて、217,652円の収入がありました。ここから、出演者への謝礼、チラシチケットの印刷代などの経費を差し引いた収益156,698円を教会会計に入金し、このうち11万円については、社会活動委員会に委託して、大船渡プロジェクト他の東北大震災に関連する基金・団体等に送金させて頂きました。皆様の御厚志に心から感謝申し上げます。

なお、2014年度 第39回チャリティコンサートは12月7日(日)に開催する予定です。出演は池田教会のオルガンを担当して下さっている越知さんで、関西二期会所属の声楽家 白石優子さんと共演して下さいます。

越知さんは、現在、京都市立芸術大学講師で、新国立劇場、関西二期会等のピアニストとしてもご活躍中です。どうぞ、皆様、お楽しみに！

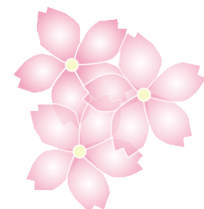
今年もより一層のご協力をよろしくお願いたします。



4月のガラスケースの言葉

わたしは良い羊飼いである
良い羊飼いは羊のために命を捨てる

(ヨハネ 10:11)



中高生会 歓送迎会 (3月15日)



<新しい本が届きました>

『たったひとりのともだち』 原田えいせい作
いもとようこ絵

たったひとりのともだちは、たったひとりのともだちのために。

いもとようこが描く、一羽のからすと少年の美しい物語。

『教皇フランシスコ』 山田經三著

彼は親しみやすい人柄と質素で謙遜に満ちた態度で、就任以来、カトリック信者だけでなく世界中の人々の心をつかんでいる。貧しい人のために真に開かれたカトリック教会への再生と、対話による世界平和の追求が期待される教皇の歩みを、その言葉やふるまい、各界からの反響をもとに綴る。

その他：

『ロザリオの祈り』 キリストバル・M・バリョヌエボ著

『これからの日本のゆくえ』

—憲法改正問題を切り口として— 森 一弘著

『人はみなけなげに生きている』 森 一弘著

『まだ見えなくてもあなたの道は必ずある』 (CD付)

Sr. 古木涼子著

『信仰の光』 教皇フランシスコ著

『聖書人物伝』 千代崎秀雄他

『たいようもつきも』 (絵本) キャサリン・パターソン作



The Most Enjoyable English Conversation Class with a Puppy



By T. Kitamura
Specialist of Enjoyment

Why don't you join our English Conversation Class with a puppy, if you like?
We never had such an enjoyable class in Ikeda Church before.
I really love dogs, and my dream has come true at last!

I joined Fr. Denis' English Conversation Class in Feb.
Two hours: from 4:00 to 6:00 p.m. on every Monday.
The topic is various every time and I am really enjoying myself.
We talk about current topics, nature, cooking, travels, gardening, sports, animals, religious matter, etc.
Last time, one topic was about dogs. All the classmates love dogs.
Above all, I know Fr. Denis loves them so much.
Amazingly he raised one hundred twenty puppies (dachshund) until four years ago.
(Four years ago his last dog died at the age of eighteen.)
For a long time, Fr. Denis raised his puppies and sold them for a relief fund for the poor. I was so surprised to know about that for the first time.
But seeing his attitude, I really respect him from the bottom of my heart.

I remember the first time I went to Ikeda Church when I was a sophomore, I met his puppies that had strange shapes – short legs and long body. Dachshund was not so popular in Japan at that time.
Fr. Denis taught me “dachs” means ‘raccoon’ and “hund” means ‘dog’ in German. So originally he is a hunter. He has strong paws.
Fr.'s puppies were so friendly and all of them jumped at me with joy.
Oh, how I loved them! They were so cute.
But I was so sorry that I couldn't buy one because the price was too expensive for me.
Besides I had been too busy to take good care of them.
Now I have retired from my job, so I can enjoy taking care of my pet dog!
Also Fr. Denis retired from the Director of St. Mary Kindergarten last year.
Now we can enjoy together our retirement!
So why don't you join us? Just listening will be enjoyable!

After the class, my pet dog – Rex (means king) – followed Fr. Denis.
He followed him and got into the Shisaikan, and wouldn't come out even if I called his name to come back home.
He sat still joyfully at the gate.
That was my first experience! He loved Fr. Denis so much!!
He knows Fr. Denis loves dogs so much.
Dogs know everything in our hearts, which we call 'Reading Hearts'.
As a foolish parent, I'd love to say he is really a good partner and companion!
Now, after my retirement, I can enjoy the most enjoyable English conversation class with a puppy, and Fr. Denis!



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

私たち、キリスト者に与えられている宝は、神のみことばである聖書です。
 黙想の家では、毎月みことばを深く味わう集いを行っています。
 宝は大事にしたいですね。

- 日帰り黙想会
 4月24日(木) 10:00～15:30 指導：山内十束神父
 4月25日(金) 10:00～15:30 指導：山内十束神父
- 四旬節黙想会
 4月12日(土) 17:00～13日(日) 15:30 指導：山内十束神父
- 聖週間黙想会
 4月17日(木) 17:00～20日(日) 朝食後 指導：山内十束神父



※ 各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで TEL. 0797-84-3111

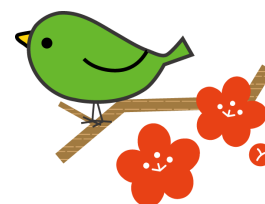
♪♪♪♪♪ 「祈りと歌」に新しい歌 ♪♪♪♪♪

「祈りと歌」に新しい歌が増えました。「彼に聞け」、「キリストの平和」、
 「ありがとう神さま」、「わたしをお使ください(マザー・テレサの祈り)」など
 23曲です。テゼ(Taize)の曲も10曲入っています。テゼはくりかえし歌っているうちに、
 同じ祈りが少しずつ変化しながら心に深く入ってくるように感じます。

池田教会のホームページに、新しい歌を練習できるページがありますので、
 家で練習してきて、いっしょに歌いましょう。

http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/choir/choir_inoritouta.htm

スマートホンの方はこちらから →



♪♪♪♪♪ 聖歌グループ ♪♪♪♪♪

編集後記

桜にまつわる思い出は、数えきれないほどあります。幼い日に庭でひっそりと一人遊
 びしていたときに、見上げた白い桜。母と駅へ向かうとき、線路わきの桜の花びらが
 電車の風にあおられるさま。夫と車内から無言で見つめた呉羽の夜桜。子供たちを遊
 ばせていた公園の桜。死期の迫った父から、もう桜は見たくない、と告げられたとき
 の衝撃。孫が生まれた日に、病院の窓から見えた満開の桜。ウオーキングの途中、五
 月山のゴルフ場横で見つけた、人知れず咲く八重桜。そう、桜の思い出をたどれば、
 これまでの自分の人生がよみがえってきます。お試しあれ。(ソフィー)

